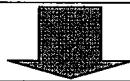


P D C A サイクルによる学力向上プラン

(1) 年

学年の実態<強みと弱み(課題) > ※○強み・●弱み	
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○絵を見て思ったことや文を読んで気づいたこと、体験して話したいことを「～です。ます。」を使ってすんと話そうとした。 ○ひらがなの字形のポイントを押さえながら指導し、ひらがな50音を読んだり書いたりできるようになった。また、ノートに文を写したり、連絡帳を書いたりもできるようになった。書く速さに差はある。 ○文字が読めるようになり、少しずつ読書への興味が増えてきた。読み聞かせを聞いたり、図書館に行って本を借りたりするなど本を手にとることが楽しみになり、興味が広がってきた。 ●ひらがなで50音の読み書きはできるが、促音(小さいっ)拗音(やゆよ)や濁音(だ)、長音(おねえさん)などが入ると書くことが難しい子どもも少なくない。 ●話す・聞く・読む・書くにおいて個に応じた指導が必要な子どもがいるが、保護者承諾のもと個別に(別教室で)指導をすることもでき、力をつけてきた。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○絵をヒントにしたり、ブロックなどの具体物を用いたりして、数の概念を体得し、数の分解・合成なども理解し、式に立てるなどの学習ができるようになってきた。 ○具体物から図に表す学習を経て、たしざん・ひきざんを理解し、カードの反復練習で習熟が図れた ●算数の文章を読むことや、その意味理解が難しい子どももいるため、絵や図でイメージさせたり、個別指導をしたりして式が立てられるように指導をしている。 ●10までのたしざん・ひきざんの理解や習熟が難しい子どもにブロックやカードを使い、個別指導をしてきた。
他教科	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽では歌を歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたり、鍵盤ハーモニカにふれたりと曲に合わせて楽しむことができた。 ○図工ではクレパスをつかって絵を描いたり、はさみやのりを使って作品を作ったりすることができた。はじめての水彩絵の具をつかった活動にも取り組めた。 ○生活科では、体験活動に意欲的に取り組めた。
体力	<ul style="list-style-type: none"> ○準備体操としてリズム運動に元気に取り組んだ。楽しんで体を動かしている。 ○水遊びでは、習熟度に応じた2つのグループに分け、それぞれに応じた指導を行い、楽しく水の中で活動することができた。 ○毎週木曜の中休みはサーキットに取り組んでいる。6年生が一緒にしてくれたり、励ましてくれたりするので、楽しんで取り組んだ。
チャレンジ	○プリントでひらがなの練習と計算の練習や計算カードに取り組んだりして基礎基本を身につけてきた。
家庭との協働	<ul style="list-style-type: none"> ○ひらがなや、いくつといくつ、たしざん・ひきざんカード、音読など、おうちの方の協力を得ながら、力をつけてきた。 ○たしざんカード・ひきざんカードを毎日おうちの方に聞いてもらうことで、答えが10までのたしざん・とひきざんの反復練習ができた。

【2学期以降の学力向上に向けての改善策】



国語	<ul style="list-style-type: none"> ・文字に興味をもたせ、話す・聞く・読む・書くなどの活動をたくさん繰り返し、楽しさやできる喜びを味わわせ、基礎・基本を身につけさせる。 ・促音、拗音、濁音や長音などの記述を読んだり書いたりして慣れ、使えるようにする。 ・個別指導が必要な子どもへの指導を連携して行う。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物から、半具体物、そして抽象化へと段階を踏んで取り組ませたり、学習したことを生活の中に積極的に活用することで、分かる喜びを味わわせながら、基礎・基本を身につけさせる。 ・個別指導が必要な子どもへの指導を連携して行う。
他教科	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことや周りの人や物について興味を持たせ、授業の中でも友だちとの関わりを大切にし、コミュニケーション能力の向上を図る。 ・歌や造形活動など、楽しみながら自分の思いを表現する活動を多く行う。
体力	・いろいろな運動に取り組ませ、体を動かすことの楽しさやできる喜びを味わわせる。
チャレンジ	・月曜日は国語、火曜日は算数に取り組み、復習や個別指導を中心に入念に取り組ませ、基礎・基本を身につけさせる。
家庭との協働	・繰り上がりのたしざんや繰り下がりのひきざんを、計算カードなどで毎日反復練習をして正確に速く、計算することができるようになる。音読練習を繰り返すことにより、文字を読むことに慣れ、単語から長い文へと読む力を伸ばす。(家庭:毎日の宿題チェック・励まし、学習の現状把握を行う。)

P D C A サイクルによる学力向上プラン

(2) 年

学年の実態<強みと弱み(課題) > ※○強み・●弱み	
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○音読カードを利用し毎日家庭学習として取り組み、授業時間にも音読に取り組んでいる。 ○短時間でも時間を決め、全文写しに取り組み「視写」をすることを習慣づけた。 ○“あのね”を毎日書くことで、5W1Hを入れた文章を書ける様になってきた。 ○読書を好み、ホップ賞を目指している。 ●促音、拗音などが入ると抜けてしまう難しい子どもがいるので、個人指導を続けている。 ●漢字ドリル・テストを使い、漢字の読みや筆順の正確さを繰り返し指導を行っているが、筆順は正確さに欠ける。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○繰り上がり・繰り下がりのある計算、1000までの数、長さなど具体物(絵を描いたり、ブロック)を用いて学習を進めている。 ○計算練習は、毎日5分程度の小テストを繰り返し行っている。 ○文章題の中で大切な「数」や「ことば」にアンダーラインを引いたり、○で囲んだりしたり、大切なことは“まとめ”としてノートに書き写したりすることが出来るようになってきた。 ●文章題の問題では読むことや内容理解が難しい子どもがいるため、個別に指導を行っている。
他教科	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽は歌を歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりして楽しんだり、鍵盤ハーモニカで曲を演奏出来るようになっている。 ○図工では、いろいろな素材を使い、友達のアイデアを取り入れたりして、自分の作品作りに活かすことができるようになってきた。 ○生活科を通して生き物や植物の命の大切さを学んでいる。 ○いろいろな活動を行った後は絵日記を書き、活動を絵や文章でまとめている。
体力	毎週水曜日はサーキットに取り組む。
チャレンジ	月曜日(算数)・火曜日(国語)復習プリントに取り組む。
家庭との協働	音読カード、漢字・計算ドリル、国語・算数の復習プリントを毎日20分+10分をめやすに取り組む。 家庭で毎日チェックする。

【2学期以降の学力向上に向けての改善策】



国語	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字ドリルやプリントを繰り返し行い、読みや筆順の正確さを徹底させる。 ・音読カードを利用し毎日繰り返し、授業時間にも毎回音読に取り組む。 ・“あのね”を毎日書くことで、5W1Hや促音、拗音の文章を書けるようにする。 ・週三回は図書館に行き、ホップ・ステップ・ジャンプ賞を目指す様に声かけをする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・計算ドリルやプリントを繰り返し行い、学習内容の定着を図る。 ・生活の中で、学習した算数の内容を意識して使うようにする。 ・個別指導が必要な子どもへの指導は継続して行う。
他教科	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳などを通して、自分のことや周りの人や物について興味を持たせ、授業の中でも友だちとの関りを大切にできる様にする。 ・歌や製作など楽しみながら、自分の思いを表現する活動を多く行う。
体力	・毎週水曜日中休みのサーキットトレーニングを継続して行う。
チャレンジ	・月曜日(算数)、火曜日(国語)復習プリントに取り組む。
家庭との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・音読カード、漢字・計算ドリル、国語・算数の復習プリントを毎日20分+10分をめやすに取り組む。 ・カード記入や○つけ等で毎日確認する(家庭)

P D C A サイクルによる学力向上プラン 2016

(3) 年

学年の実態<強みと弱み(課題)> ※○強み・●弱み	
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○国語辞典を意欲的に活用できている。[関心・意欲・態度] ○文章を正しく読み取ることができる子が増えてきた。[読むこと] ●学習した漢字の定着(とめ・はね・はらいや仮名遣い等)が不十分である。[言語]
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○計算の仕方を理解し意欲的に学習に取り組めている。[知識・理解／関心・意欲・態度] ○簡単な計算ミスや単位の書き忘れが減ってきていている。[技能] ○絵、図、言葉などを用いて、自分の考えを書けるようになってきている。[数学的な考え方] ●文章問題が苦手である。[数学的な考え方]
他教科	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な自然に興味をもって意欲的に取り組めている。[関心・意欲・態度] ○予想をもとに実験・観察を行い、結果をわかりやすく記録することができている。[技能] ○自然の事物・現象を比べながら問題をみつけたり、違いや共通点を考えたりすることが少しづつできるようになってきた。[思考・表現]
体力	<ul style="list-style-type: none"> ○休み時間を利用してサーキットトレーニングに取り組んでいる。 ○楽しんで体育の授業に取り組んでいる。 ●児童によっては、自らの体力を高めようとする気持ちが弱い。
チャレンジ	<p>漢字・計算を中心に繰り返し練習に取り組んでいる。 百マス計算に熱心に取り組んでいる。</p>
家庭との協働	<p>ほとんどの子が毎日取り組んでいる。</p>

【2学期以降の学力向上に向けての改善策】



国語	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字学習の仕方を工夫する。 ・ドリルを使い、ノートに毎日繰り返し練習をし、小テストやまとめテストをする。 ・読解プリントを用意し、子どもたちに取り組ませる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント・ドリルを用いて復習を重ねる。 ・絵や図、具体物を用いて、自分の考えをノートに書き、発表させる。 ・学力向上担当の先生と話し合いながら、T1・T2及び少人数の指導を引き続き行う。
他教科	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な体験や活動をより多く取り入れ、考える力をつけていく。
体力	<ul style="list-style-type: none"> ・走・跳・投の基本的な運動を経験させ、体を動かすことを楽しませる。 ・学習カードを利用して継続的に取り組ませる。持久走、なわとび(家庭でも)。
チャレンジ	<p>【曜日を決めて、算数(月)、国語(火)を継続的に行う。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字・計算の復習を中心に繰り返し練習を行い、学習の定着を図る。 ・読解プリントに取り組む。
家庭との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・音読、漢字ドリル、計算ドリル、復習プリントを基本とする。 ・学校での認めとやり直しを必ず行い、習慣化と定着を図る。 ・毎日40分以上の学習時間を確保する。可能な限り宿題に目を通す(家庭)。

P D C A サイクルによる学力向上プラン

(4) 年

学年の実態<強みと弱み(課題)> ※○強み・●弱み	
国語	○国語辞典を意欲的に活用できている。[関心・意欲・態度] ○文章を正しく読み取ることができる子が増えた。[読むこと] ●大きな声ではっきりと音読・発表できる子が少ない。[話すこと] ●学習した漢字の定着(とめ・はね・はらいや仮名遣い等)が不十分である。[言語]
算数	○計算の仕方を理解し意欲的に学習に取り組んでいる。[知識・理解／関心・意欲・態度] ○簡単な計算ミスや単位の書き忘れが減ってきていている。[技能] ○絵、図、言葉などを用いて、自分の考えを書けるようになってきている。[数学的な考え方] ●文章問題を正しく読み取って考えることができていない。[数学的な考え方]
他教科	○身近な自然に興味をもって意欲的に取り組んでいる。[関心・意欲・態度] ○予想をもとに実験・観察を行い、結果をわかりやすく記録することができている。[技能] ○自然の事物・現象を比べながら問題をみつけたり、違いや共通点を考えたりすることが少しづつできるようになってきた。[思考・表現]
体力	○休み時間を利用してサーキットトレーニングに取り組んでいる。 ○楽しんで体育の授業に取り組んでいる。 ●自らの体力を高めようとする気持ちが弱い。
チャレンジ	漢字・計算を中心に繰り返し練習に取り組んでいる。
家庭との協働	ほとんどの子が毎日取り組んでいる。



【2学期以降の学力向上に向けての改善策】

国語	<ul style="list-style-type: none"> 授業初めに、発声の場を設定するなどの工夫。 漢字学習の仕方を工夫する。 ドリルを使い、ノートに毎日繰り返し練習をし、小テストやまとめテストをする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> プリント・ドリルを用いて復習を重ねる。 絵や図、具体物を用いて、自分の考えをノートに書き、発表させる。 必要に応じて個別指導の時間をつくる。
他教科	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な体験や活動をより多く取り入れ、考える力をつけていく。
体力	<ul style="list-style-type: none"> 走・跳・投の基本的な運動を経験させ、体を動かすことを楽しませる。 みんな遊びを活用して体力向上に取り組ませる。
チャレンジ	<p>(月曜日に算数、火曜日に国語を行う。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字・計算の復習を中心に繰り返し練習を行い、学習の定着を図る。 授業の進度に沿ったプリントに取り組む。
家庭との協働	<ul style="list-style-type: none"> 音読、漢字ドリル、計算ドリル、復習プリントを基本とする。 学校での認めとやり直しを必ず行い、習慣化と定着を図る。 毎日50分以上の学習時間を確保する。可能な限り宿題に目を通す(家庭)

P D C A サイクルによる学力向上プラン

(5) 年

学年の実態<本年度の成果と課題> ※○成果(強み)・●課題(弱み)	
国語	<p>【大分県学力定着状況調査から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○正答率は、全国の目標値を上回っている。（目標値67.7 県74.3 县隈72.2） ○「話すこと・聞くこと」の領域の正答率は、県とほぼ同じであった。 ○「書くこと」の領域がよくできており、設問に対して自分の考えとその根拠を決められた字数で書き表わすことができていた。 ○●「読むこと」の領域は、「物語」はよく読みとれていたが、「説明文」はほんの少し下回った。 ●「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域の正答率と「漢字を書く」が、県の正答率を下回っている。
算数	<p>【大分県学力定着状況調査から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○正答率は、全国の目標値を上回っている。（目標値67.8 県72.0 县隈71.6） ○「図形」の領域は、県の正答率を上回っている。 ○「わり算」「角の大きさ」「いろいろな形」はよく理解できている。 ●「面積」「計算の復習」「分数」が目標値を下回っている。
理科	<p>【大分県学力定着状況調査から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○正答率では、目標値も大分県の値も上回っている。（目標値65.3 県72.4 县隈75.0） 観点別正答率では、「科学的な思考・表現」、「観察・実験の技能」「自然事象についての知識・理解」の3観点ともに目標値及び県を上回っていた。特に、「思考・表現」「観察・実験の技能」については、目標値を10ポイント以上上回っている。 ●誤答の多かった問題を見てみると身近な事象を学習した内容とつなげて考え方表現していくことが苦手なようだ。
体力	<ul style="list-style-type: none"> ○サークットに金曜日の中休みに取り組んできた。 ○体力テストは概ね、全国平均に近い値または超えた状態であった。 ●登り棒や鉄棒などを使った運動には個人差がある。
チャレンジ	○週2回の時間は、漢字と計算を中心に、基礎基本の定着に向けた取り組みをしている。
家庭との協働	<ul style="list-style-type: none"> ○1日60分を目安に音読・漢字・計算・日記に取り組ませ、残った時間は自学にあてる。 ○基礎・基本的な学習内容の確実な定着を目指して宿題プリントを作成する。

【2学期以降の学力向上に向けた改善策】

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書き取り練習だけでなく、辞書を使ってその成り立ちや意味を調べ、普段から漢字を使って文章を書くようにさせる。 ・説明文など物語以外の文章に多く親しませたり、読みとりの練習に取り組んだりしていく。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の計算や $51 \times 28 + 49 \times 28 = (51+49) \times 28$ のような解き方をする問題にくり返し取り組み習熟するとともに、計算ミスを減らしていく。 ・学力向上支援員とともに、少人数体制や習熟度別などの学習形態を工夫することで、5年の内容の定着を図る。 ・具体物や半具体物の操作、絵や図の活用、既習事項の確認など授業の中で多く取り入れ、考える視点をはつきり持たせ自分の考えを書いたり発表したりする時間を確保するとともに、既習事項をもとにした問題解決学習によりつまずきの改善を図る。 ・チャレンジタイムや放課後等で、引き続き個別指導の充実を図る。
他教科	<p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を知識として理解させるのではなく、日常の事象から課題を見つけ、予想を立て、実験結果や観察を通して解決していく過程をこれからも大切にしていく。 ・授業の中で学習した内容と身近な事象を結び付ける活動を限られた時間ではあるが、設定していく。
体力	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎練習をうながしたり、体育の前のサークット練習に取り組ませたりする。運動会の徒競争や表現、持久走やなわとびなど目標をもって練習に取り組めるようにする。
チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日は算数に、火曜日は国語に取り組む。国語は漢字、算数は計算など子どもたちの習熟状況を見て設定する。
家庭との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・小中9年間を見通した家庭学習のありかたとして、基本的な学習内容の定着と、自主的な学習の定着、発展を図る。毎日50～60分の学習時間を確保する。可能な限り宿題に目を通し、励ます。（家庭）

P D C A サイクルによる学力向上プラン

(6) 年

学年の実態<強みと弱み(課題)> ※○強み・●弱み	
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ “とめ・はね・はらい”を大切・丁寧に、意識を高くもって漢字の書き取り練習に取り組む子どもが多い。 ○ 辞書を使って漢字の成り立ちや意味を調べ、既習漢字を使用しようとする意識が高まり、習慣化されてきている。他の教科においても、図書室を有効活用し、必要な書籍を選び、情報を効果的に得る力が高まっている。 ●表現力や語彙量の差が依然としてあり、特に長文を書く事を苦手とする子どもが多い。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○個人の考えを必ずもち、グループで考えを交流したり深めたりした上で、全体に広め学び合うことができている(ホワイトボードの有効活用)。 ○学力向上支援員のきめ細やかな指導により、個に応じた指導ができている。 ●計算の見直しを怠った事による計算ミス、問題の読み取り不足による回答方法の間違え等のケアレスミスが多い。
他教科	<p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○理科の学習に興味を持っている子が多く、実験や観察を楽しみにしている子が多い。 ●薬品名や臓器の名前とそのはたらきなど、基礎的な知識・理解の不足。 ●実験結果から考察にまとめるに抵抗感を持つ子が多い。
体力	<ul style="list-style-type: none"> ○体育の授業やサークルトレーニングに熱心に取り組み、自分の課題をもち、その解決に向けて努力する子どもが多い。 ●成長段階からか、休み時間に外に出て遊ぶ事を好まない児童が増えてきた。
チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> ○国語科の“漢字の広場”を教育課程に位置付け実施した事で、通常の授業に割ける時間が増え、学習内容の充実が図られた。
家庭との協働	<ul style="list-style-type: none"> ○与えられた課題には熱心に取り組む子どもが多い。 ●自主学習への取り組みの意識・内容・質の差が大きい。



【2学期以降の学力向上に向けての改善策】

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・作文コンクールや卒業レポート等の機会を有効に活用し、長文を書く事に慣れさせる。 ・算数や社会、チャレンジタイム等でも、常に自分の考えをもち、書く活動・伝え合う場を取り入れ、文章力を含めた表現力の向上を図る。 ・辞書を常備させ、他人に聞くのではなく自分で調べる習慣を確立させる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も課題とまとめを明確にした1時間完結型の授業を行い、板書とノートの一体化を図っていく事で、子どもが見通しをもって効果的に学習できるように努める。 ・ただ考えを書く(もつ)だけでなく、友だちにとってより分かりやすい説明や表現方法を工夫させる事で、数学的な考え方の力だけでなく、国語の課題でもある文章力の向上にも繋げる。
他教科	<p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎、基本の充実に向け既習内容の振り返りの場を適宜つくる。 ・各自に考察を書かせる時間を確保し、書けない子には考察の書き方を指導する。
体力	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものやる気が生かせる・発揮されるよう、個人やチームのめあてをもたせ、その解決に向けた練習方法や場の設定等を工夫した授業づくりを行う(校内研の充実)。 ・外に出てクラスや学年全員で遊ぶ日を設定し、外遊びの楽しさを味わわせる。
チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> ・国語では、漢字の広場の学習を有効活用して書く活動を充実させ、文章力の高まりと語彙量の増加を図る。 ・計算問題はもちろん、文章問題にも取り組み、読み取る力を高める。
家庭との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習の素晴らしい取り組みを紹介し、内容が充実するよう工夫させる。 ・自分に合った効果的な学習方法を家庭と連携しながら模索し、身に付けさせていく。